

第六回「神南小学校建て替え準備委員会」を実施しました

第六回の委員会では、前回議題に挙げた動線計画やセキュリティの考え方のほか、建物内部の計画について、より具体的な意見交換を行いました。中でも、地域開放する際の運用については、より詳細な想定を加えた案をいくつか比較しながら、今後の進め方のご報告及び意見交換を実施しました。

発行年月日：令和4年12月23日
 発行者：渋谷区教育委員会事務局
 住所：〒150-8010 渋谷区宇田川町1番1号4階
 問い合わせ先：電話：03-3463-2795 Mail：sec-gakko-seibi@shibuya.tokyo

R4.11.24 第六回委員会 議題

(1) 新校舎に関する検討について

- ① 諸室（案）更新版について
- ② 上下足の考え方について
- ③地域開放に際しての運用方針について
- ④学校施設の機能ゾーニング（案）などについて

(2) 意見交換

(1) ①諸室（案）更新版について ③地域開放に際しての運用方針について

諸室（案）の更新については、主に地域開放する室について、更新した主旨などをご説明いたしました。中でも、図工室、音楽室などの特別教室の開放について、活発な意見交換を実施しました。各特別教室に備えられる備品を貸し出すのか、スペースだけを貸し出すのか、地域の方とはどのような人を想定しているのか、などの具体的な運用についてのご質問を多くいただきました。

いただいたご意見を踏まえ、引き続き、児童やPTA、教職員や地域の代表等、関係者の皆さまの目線に立って、運用方針を具体化していくことを共有いたしました。

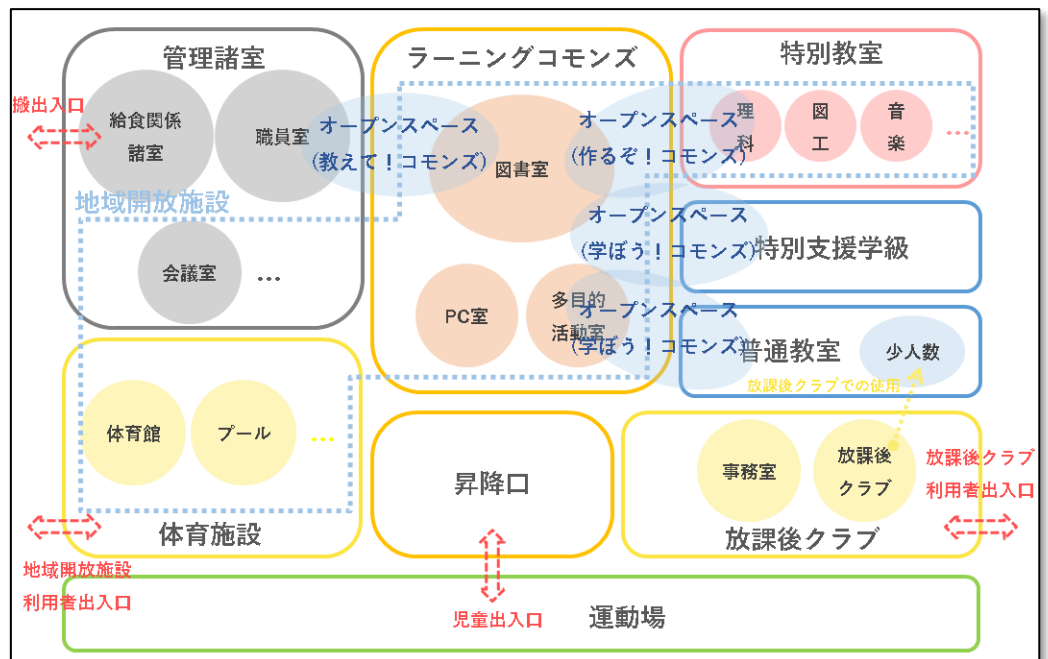
(1) ② 上下足の考え方について

第五回の委員会でお伝えした「一足制」の運用について、具体的なイメージを持っていただくために、実際に一足制を採用している他区の学校様への見学会をご提案させていただきました。詳細が決まり次第、見学会のご案内することをご報告いたしました。

(1) ④学校施設の機能ゾーニング（案）などについて

建物内部の機能ゾーニングについて、施設全体の機能を分かりやすく表したコンセプト図を用いてご説明いたしました。また、各教室を地域開放するパターンをいくつか想定した上で、「教員と児童の関わり方」や「校舎の出入口」、「セキュリティライン」等の工夫についても共有いたしました。

右図：施設全体機能ゾーニングコンセプト



(2) 主な意見交換

- Q：地域開放をする特別教室などについて、誰が運用することになるのでしょうか。
 A：建て替え後は新しい運用方針を取りたいと考えています。今後も議論を重ねて、適切な体制を検討していきます。
- Q：災害時の避難動線について、対策などあれば教えていただきたい。
 A：具体的な対策については関係者間で協議を行いながら、検討を進めていきます。

【次回の議題（予定）】

- ・新校舎の機能ゾーニングについて
- ・新校舎の災害時の使い方について
- ・仮設校舎検討状況について
- ・その他学校運用等について